【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【公開番号】特開2004-347132(P2004-347132A)
【公開日】平成16年12月9日(2004.12.9)
【年通号数】公開・登録公報2004-048
【出願番号】特願2004-266104(P2004-266104)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｃ　33/20　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｃ　33/20　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年3月8日(2006.3.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】すべり軸受装置を用いた回転機械
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
回転機械に使用するすべり軸受であって、該軸受部分は熱可塑性の樹脂でコーティングした連続性のある炭素繊維を軸芯に対してコイル状に巻回して、加温加圧加工により成形したものであることを特徴としたすべり軸受装置を用いた回転機械。
【請求項２】
前記軸受部分の許容すべり速度は３．９ｍ／ｓを超えることを特徴とする請求項１に記載のすべり軸受装置を用いた回転機械。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は樹脂材料を用いたすべり軸受装置を用いた回転機械に係り、特に、伝熱特性が良好で摺動熱を良好に除去することができる、許容すべり速度、許容面圧が高いすべり軸受装置に関する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明は上述した事情に鑑みて為されたもので、良好な伝熱特性による冷却効果が高く

、許容すべり速度、許容面圧が高い樹脂材料からなるすべり軸受を用いた回転機械を提供することを目的とする。